

平成25年7月25日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
スポーツ振興事業部

報道関係各位

『toto助成金交付式』開催のご報告 平成25年度スポーツ振興事業助成の代表団体に交付認定書を授与

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）は、昨日7月24日（水）に、『toto助成金交付式』を開催し、平成25年度スポーツ振興事業助成を受ける団体に対し、交付認定書の授与を行いました。

平成25年度のスポーツ振興事業助成は、多くの皆様のご支援をいただき、

- ・グラウンドの芝生化をはじめとした**地域のスポーツ施設の整備**に対し、約69億円
- ・総合型地域スポーツクラブの育成をはじめとした**地域スポーツの普及**に対し、約45億円
- ・アスリートの育成や国際競技大会の開催など**スポーツの競技水準の向上**に対し、約56億円

合わせて約**170億円**の助成を行っています。（また、現在追加募集を行っています。）

（参考）平成25年度交付対象事業一覧はコチラ→ <http://www.jpnsport.go.jp/sinko//tabid/155/Default.aspx>

【交付認定証授与】

助成金交付式には、助成団体のうち、全国の地方公共団体より48団体82名、スポーツ団体より67団体115名の方々にご出席いただき、代表7団体に対し交付認定書の授与を行いました。



左から、

大東和美様（Jリーグチェアマン）、大仁邦彌様（日本サッカー協会会長）、井上哲也様（大阪府吹田市市長）、竹田恒和様（日本オリンピック委員会会長）、河村建夫様（衆議院議員）、福井照様（文部科学副大臣）、河野一郎 JSC 理事長、森喜朗様（ラグビーワールドカップ2019 組織委員会副会長）、張富士夫様（日本体育協会会長）、遠藤利明様（衆議院議員）、鳥原光憲様（日本障害者スポーツ協会会長）、鈴木秀典様（日本アンチ・ドーピング機構会長）

【JAPAN SPORT NETWORK 共同宣言・締結セレモニー】

また当日は、新たに立ち上げたスポーツ関係者の皆さまとの連携・協働ネットワーク『JAPAN SPORT NETWORK』の共同宣言締結セレモニーを行いました。

このネットワークは、互いにスポーツを支え、育てるというスポーツ振興くじ制度の理念を尊重するとともに、「スポーツの力」で明日の社会を拓くヒトを育て、活力ある地域社会と幸福で豊かな日本を実現するために協働し、子どもたちや若者が夢を持てる国、輝く未来を創ることを目指したものです。

今年度は、とりわけスポーツを推進するための屋台骨を支えている「地域」、地方公共団体の皆様との関係に焦点を当てることとし、まず、地域のスポーツ環境の基盤整備にご尽力されている全国の地方公共団体のうち、平成25年度スポーツ振興くじ助成金によりスポーツ施設を整備される156の地方公共団体にご案内をさせていただきました。そのうち、すでに100を超える地方公共団体の皆様が、趣旨に賛同いただいております。

今後は、ご賛同いただいた皆様と、スポーツ推進事業の好事例紹介、セミナーの開催、当センター事業に関する参考情報の提供を行いながら、相互に連携・協働を図ってまいります。



【トップアスリート挨拶】

交付式には、トップアスリート7名にもご出席いただき、2020年の東京オリンピック・パラリンピック招致に向けた思いや、この冬のソチ冬季オリンピックに対する抱負などを語っていただきました。



左から、石川佳純選手（卓球）、三宅宏実選手（ウエイトリフティング）、渡部暁斗選手（スキーノルディックコンバインド）、酒井裕唯選手（スケートショートトラック）、桜井美馬選手（スケートショートトラック）、近藤陽子選手（アイスホッケー）、足立友里恵選手（アイスホッケー）

JSCでは、totoの収益による助成が、地域のスポーツ環境の整備から、トップアスリートの競技力向上まで、これまで以上に、日本のスポーツ振興に役立てられるよう、スポーツ振興に関わる皆様とともに、連携・協働を図りながら取り組んでまいります。